

1998年度 産業社会学会（教員・院生）共同研究会一覧

回 日 時	テーマおよび報告者
第1回（6月19日）	「当前中国社会結構転型的幾個方面」 鄭抗生（中国人民大学教授，本学部客員教授）
第2回（7月17日）	「ホップズの政治思想」田中 浩（大東文化大学教授，本学部客員教授）
第3回（10月16日）	「NPOの現状と課題」中村 正（本学部助教授）
第4回（10月30日）	「北欧における産業・労働の現状」 Tommy Nilsson（スウェーデン・労働生活研究センター） Göran Brulin（同上） Berger Viklund（同上） Terje Grønning（ノルウェー・オスロ大学専任講師）
第5回（11月13日）	「表現論からみたマンガ研究の可能性」中島啓子（東郷青児美術館） コメンテーター：Jaqueline Berndt（本学部助教授）
第6回（11月27日）	「福祉国家と家族・ジェンダー」 大塚陽子（本学大学院社会学研究科博士後期課程） 「マックス・ウェーバーの社会科学の方法」尾場瀬一郎（同上） 「アメリカにおける「コーポレート・リベラル国家」の形成過程第1次世界大戦期の石油産業総動員体制構築をてがかりに - 」高嶋正晴（同上）
第7回（12月4日）	「N. エリアスの初期研究について」 坂なつこ（本学大学院社会学研究科博士後期課程） 「あいまいな進学動機の社会学的研究」森重拓三（同上）
第8回（12月18日）	学部国際研究セミナー “Moral economy and Political economy” Andrew Sayer（英，ランカスター大学教授）
第9回（1月22日）	「大学における情報・メディア教育の課題 - 社会の大学に対する要請に いかにこたえるべきか - 」桂 敬一（本学部教授）
第10回（1月29日）	「論吉・如背閑・丸山真男」田中 浩（大東文化大学教授，本学部客員教授）